

# 益田市行財政改革取組方針

## ➤ 現状・課題

人口減少・少子高齢化  
▼  
より一層の財政健全化

社会の急速なICT化  
▼  
スマート自治体\*1への転換による  
市民サービスの水準維持

予見不能な社会情勢  
▼  
柔軟かつスピーディな対応

益田市版SDGsの達成  
▼  
2030年までに達成

## ➤ これからの行財政改革



## ➤ めざす姿

益田市の将来像を見据え、持続可能な行財政運営をめざすことで、益田市版SDGsの達成に貢献します。

### マインド

#### 誰一人取り残さない「まちづくり」

- 市民ニーズに対応した行政サービスを提供します。
- 限りある資源を適正に配分し、効率的な行財政運営をめざします。
- 地域間・世代間の格差を解消し、住み続けられるまちづくりを進めます。

### スキーム

#### 持続可能な仕組みづくり

- 変革を生み出す「ひとづくり」を進めます。
- 歳入確保・歳出削減を進めます。
- 事務を適正に執行します。
- 公共施設の適切なマネジメントを進めます。

### ダイバーシティ

#### 多様性ある行政運営

- 情報発信を強化し、市民参画・官民連携を促進します。
- 子どもから大人まで、あらゆる市民の多様な価値観や発想を行政運営に生かします。



## ➤ 具体的な取組事項 R8 (2026) ~R12 (2030)

#### 業務効率化・適正化

- DDXプロジェクト\*2の推進
- 内部統制の取組の充実
- アナログ規制の点検・見直し

#### ICT化

- AI・RPA\*3の利用推進
- デジタル化・ペーパーレス化

#### 財政健全化

- 公共施設マネジメント
- スクラップ&ビルド\*4の徹底

#### 市民参画・官民連携

- 情報発信強化
- 公式LINEの機能拡張

めざす姿の実現に向けて、政策企画課が中心となって取り組みます。

\*1『スマート自治体』とは、AI・RPAなどのICT活用により業務を効率化する自治体のことです。

\*2『DDXプロジェクト』とは、『できることから どんどん やろう (改革)』を合言葉に取り組んでいる業務改革のことです。

\*3『RPA (Robotics Process Automation)』とは、ソフトウェア・ロボットによる業務自動化のことです。

\*4『スクラップ&ビルド』とは、事業を取捨選択し、優先度の高い施策を強化するため予算と人を再配分することです。